

■■■住宅の所有の関係について■■■

持ち家率は78.1%で、引き続き全国第1位

住宅に住む一般世帯数（383,981世帯）を住宅の所有の関係別にみると、「持ち家」が299,898世帯（住宅に住む一般世帯の78.1%）と最も多く、次いで「民営の借家」が62,865世帯（同16.4%）となっています。

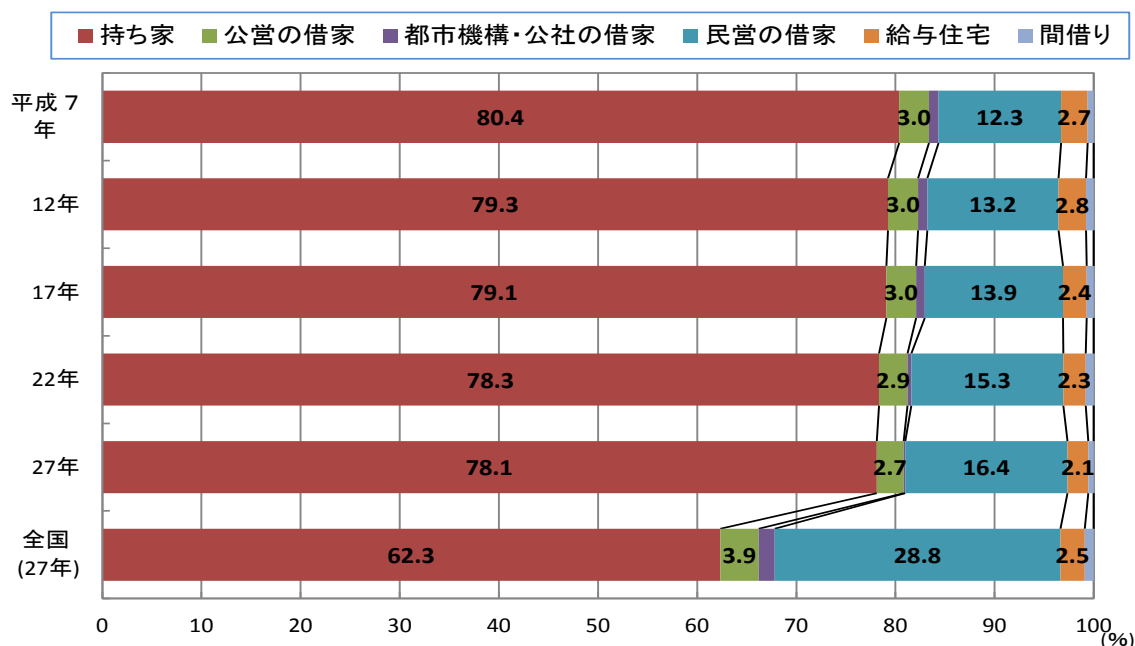
住宅に住む一般世帯に占める「持ち家」の割合（持ち家率）は78.1%と前回調査（78.3%）に比べ0.2ポイント低下しましたが、前回同様全国第1位となっています。

一方「民営の借家」は15.3%から1.1ポイント上昇しています。（表16、図9）

表16 住宅の所有の関係別住宅に住む一般世帯数の推移（平成7年～27年）

区分		住宅に住む一般世帯						
		総数	持ち家	公営の借家	都市機構・公社の借家	民営の借家	給与住宅	間借り
実数 (世帯)	平成7年	329,295	264,625	9,987	3,183	40,640	8,795	2,065
	12年	350,000	277,404	10,555	3,320	46,316	9,659	2,746
	17年	363,763	287,618	10,984	3,114	50,713	8,738	2,596
	22年	376,557	295,032	10,827	1,462	57,668	8,524	3,044
	27年	383,981	299,898	10,457	623	62,865	8,074	2,064
	全国(27年)	52,460,618	32,693,605	2,046,146	844,610	15,108,361	1,291,466	476,430
割合 (%)	平成7年	100.0	80.4	3.0	1.0	12.3	2.7	0.6
	12年	100.0	79.3	3.0	0.9	13.2	2.8	0.8
	17年	100.0	79.1	3.0	0.9	13.9	2.4	0.7
	22年	100.0	78.3	2.9	0.4	15.3	2.3	0.8
	27年	100.0	78.1	2.7	0.2	16.4	2.1	0.5
	全国(27年)	100.0	62.3	3.9	1.6	28.8	2.5	0.9

図9 住宅の所有の関係別住宅に住む一般世帯割合の推移（平成7年～27年）



住宅に住む65歳以上世帯員のいる一般世帯（200,302世帯）を住宅の所有の関係別にみると、持ち家率は94.0%、民営の借家に住む割合は3.5%と、一般世帯全体に比べ持ち家率が高くなっています。平成12年以降の推移をみると、持ち家に住む世帯、民営の借家に住む世帯ともに世帯数は増加していますが、割合については、持ち家率が低下しているのに対し、民営の借家に住む世帯の割合は増加しています。（表17、図10）

表17 高齢者のいる一般世帯における住宅の所有の関係の推移（平成12年～27年）

区分		65歳以上世帯員のいる住宅に住む一般世帯			
		総数	持ち家	民営の借家	その他
実数 (世帯)	平成12年	154,669	148,038	3,609	3,022
	17年	167,576	159,810	4,159	3,607
	22年	182,530	172,706	5,474	4,350
	27年	200,302	188,273	7,060	4,969
	全国(27年)	21,627,580	17,717,147	2,321,960	1,588,473
割合 (%)	平成12年	100.0	95.7	2.3	2.0
	17年	100.0	95.4	2.5	2.2
	22年	100.0	94.6	3.0	2.4
	27年	100.0	94.0	3.5	2.5
	全国(27年)	100.0	81.9	10.7	7.3

図10 高齢者のいる一般世帯における住宅の所有の関係の推移（平成12年～27年）

